

第二回地方創生・交流自治体連携フォーラムを開催！

11月6日、杉並区役所において、都市と地方がともに輝く地方創生に向けて、第二回地方創生・交流自治体連携フォーラムが開催されました。今回のフォーラムでは、杉並区など9自治体の首長らが集まり、「若者の地方への流れをつくる」をテーマとした構想の発表や今後の取組に向けた討議等を行いました。

本日、午後2時30分から、杉並区役所第四会議室において、杉並区と杉並区の交流自治体9自治体の首長が出席し、第二回地方創生・交流自治体連携フォーラムが開催されました。

今回のフォーラムでは、内閣府まち・ひと・しごと創生本部の川野参事官より、「高齢者の転入超過自治体が増えている現状を踏まえた新たな財政調整の仕組み」やゲストとして参加した高野豊島区長より、豊島区と繋がりのある秩父市や富津市での特別養護老人ホームの整備についての取組状況の説明がありました。

続いて、各自治体の首長が、策定又は策定中の地方版総合戦略の概要を説明したのち、「若者の地方への流れをつくる」をテーマとして、加藤名寄市長と梅本南伊豆町長からはそれぞれの自治体での若年層を対象とした取組の発表が、また、桜井南相馬市長からは地域課題の協働解決に向けた大学との連携の取組である「みなみそうま復興大学」について説明がありました。



これらの発表等を踏まえ、主に学生をターゲットとした地方への若者の流れをつくるために必要な滞在場所、行政の支援の在り方、地域と学生の双方にメリットのある活動内容はどのようなものか討議が行われました。

進行を務めた大森彌東京大学名誉教授からは、「地域の中の既存の資源やその土地にしかない魅力を活かして取組を進めていくことが必要。学生は社会を知らない分柔軟な発想ができるので地域で積極的に受け入れてほしい」との助言があり、また、杉並区長からは「区内の大学と交流自治体の連携協議の仕組みを研究していく」との提案を行いました。

終わりに、本フォーラムを自治体連携による課題解決のための協働研究や合意形成の場として来年度も開催することが首長間で合意されました。

【フォーラム参加自治体】

北海道名寄市、福島県南相馬市、福島県北塩原村、群馬県東吾妻町、東京都青梅市、新潟県小千谷市、山梨県忍野村（初参加）、静岡県南伊豆町、東京都杉並区、東京都豊島区（ゲスト）

【問い合わせ先】

区民生活部地方創生担当 03-3312-2111